

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 33 号 (2022 年 6 月 10 日発行)

ウィズコロナの生活も落ち着きはじめ、オリエンテーリングのイベントも賑わいを見せています。今年の夏は例年より気温が高いことが予想されていますので、熱中症対策を取ったうえご参加をお願いいたします。

●本号の内容

- ・第 10 期定期総会のお知らせ
- ・デフオリエンテーリング協会が JOA に入会
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ
- ・2021 年度全日本スプリント大会報告
- ・競技会における死亡事例と今後の安全対策について
- ・新資格 イベントディレクターの養成・認定について

●第 10 期定期総会のお知らせ

第 10 期総会は JOA 事務局がある JSOS ビルでの対面開催といたします。昨年就任した堀井会長も出席し、総会后に座談会を企画しました。また、世界選手権に出場する代表選手壮行会も開催いたします。

総会等の様子をオンライン(Zoom)にて配信予定です。詳細は後日 JOA のホームページにてご案内します。

開催日時： 6 月 18 日(土)

13:30～14:30 総会

14:30～15:00 意見交換会

15:15～16:15 堀井会長座談会

16:30～17:30 世界選手権大会派遣選手壮行会

議題予定： ・2021 年度事業報告 ・財務諸表の承認、監査報告

・定款の一部訂正について ・理事の承認について ・その他

●日本デフオリエンテーリング協会が JOA に入会

6 月 5 日の理事会において、日本デフオリエンテーリング協会の入会が承認されました。2025 年のデフリンピック東京開催招致活動が進む中で、オリエンテーリング競技の開催を共に目指していくこととなります。

ぜひ今後の活動にご注目ください。

日本デフオリエンテーリング協会： <https://www.facebook.com/japandeaforien>

●今後の公認大会・講習会のお知らせ (状況により変更の可能性があります。)

7 月 2 日	インストラクタ養成講習会	(岐阜県)
10 月 8 日	第 11 回全日本大会(ミドルディスタンス競技)[公認 A]	(山梨県)
10 月 9 日	第 48 回全日本大会(ロングディスタンス競技)[公認 A]	(山梨県)
8 月 27 日	コーチ 2 (専門科目)	(東京都)
9 月 18・19 日	コーチ 1 (専門科目)	(静岡県)
12 月 17・18 日	インストラクタ養成講習会	(徳島県)
<u>2023 年</u>		
2 月 5 日	全日本リレー大会	(栃木県)

●2021 年度全日本スプリント大会報告

コロナ禍により日程延期となりましたが、6月4日、新潟県新潟市において無事開催することができました。予選・決勝方式で行われ、男子決勝では優勝タイムから1分以内に入賞者がひしめき合う接戦となりました。

男子決勝

1 小牧弘季	0:14:56
2 二俣 真	0:15:03
3 長岡凌生	0:15:25
4 伊藤 樹	0:15:42
5 前中脩人	0:15:43
6 橘 孝祐	0:15:47

女子決勝

1 稲毛日菜子	0:14:00
2 伊部琴美	0:14:48
3 松本萌恵	0:14:52
4 増澤すず	0:15:11
5 小林祐子	0:15:36
6 皆川美紀子	0:16:06



写真提供：Oriphoto 様

●競技会における死亡事例と今後の安全対策について（危機管理・コンプライアンス委員会）

去る令和3年12月26日に開催されたWMG2021関西プレイベントにおいて、参加者の一人であるAさんが急性大動脈解離のためレース直後に不調を訴え、同日逝去されました。多くのオリエンテーリング大会に参加されてきた熱心な愛好者であったAさんを失ったことは、私たちオリエンテーリング関係者にとっても悲しい出来事ですが、ご家族の心中はお察しして余りあるものがあります。謹んでAさんのご冥福をお祈り致します。

JOAとしては、Aさんのご逝去を機に、オリエンテーリング大会がより安全で、安心して参加できるものとなるよう、今回の出来事の経緯をまとめ、課題を抽出し、今後への提言を行った報告書をホームページ上に掲載いたしました。

<https://www.orienteering.or.jp/archives/20220518-2/>

すでに「理事会・事務局だより 2022年4月号」でも掲載しましたように、スプリント競技は競技時間が短く、公園等の比較的管理された空間で行われるため、フォレスト競技よりも安全度が高く大げがもしないと考えられがちですが、実際には走行スピードも速く、身体的負荷は大きなこともあり、フォレスト競技とは別種の注意を必要とします。

JOAとしては、今後も安全啓発に力を入れてゆくために、安全講習の開催、「ナビゲーションスポーツのための安全ガイド」の改訂、大会参加者募集要項に掲載するリスクの説明書や同意書のひな形の作成、などを計画しており、すでに第14回全日本選手権(スプリント)において導入を始めております。(参加同意書は主催者の責任を免責するものではありませんが、リスク等の説明と共に同意書を得ることで、参加者が大会参加における安全意識を高める効果が期待できます。)

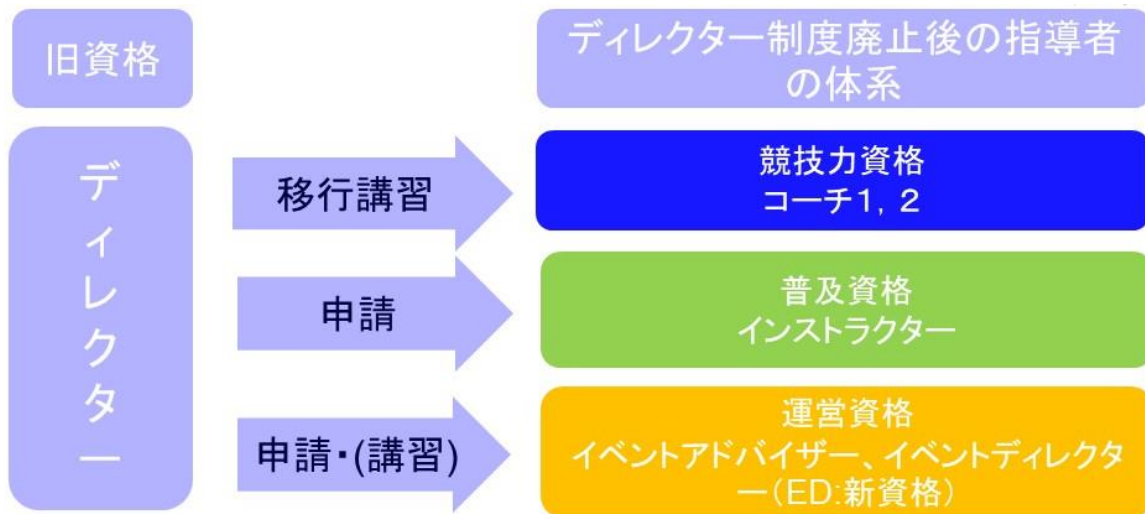
オリエンテーリング愛好者、大会運営者の皆様におかれましては、上記報告や安全ガイドをご一読いただき、今後の競技会での安全に向けてより一層のご留意をお願い致します。

●新資格 イベントディレクターの養成・認定について（資格認定小委員会）

JOAの指導員制度を支えてきたディレクターから日本スポーツ協会のコーチ制度の移行についてはすでにお知らせしている通りですが、ディレクターが担ってきた運営面での指導的役割に代わる資格としてイベントディレクター(ED)の養成・認定を本年度よりスタートします。

運営に関する資格としてイベントアドバイザー(EA)がありました。EAが競技規則に則り運営者とは独立した立場から競技規則に沿って大会が運営されているかを確認する立場であるのに対してEDは競技規則の考え方の理解を基盤に、運営組織内部で大会の質を保障するための資格となります。公認大会等で要求されてきたディレクターの配置は、移行期を経てEDに置き換わります。

現在ディレクター資格を保持している方はその有効期限内に移行申請をすることで、EDに移行することができます。その際に、オンデマンド講習を受講することを推奨します。詳しくはJOAのホームページでの発表をご覧ください。



図：ディレクター制度廃止に伴う移行の概要。

旧来のディレクターは、運営、普及、競技力の3領域に渡る資格であったことを踏まえ、競技力、普及、運営のいずれの資格にも移行が可能になるようにした。これまで主として広報してきたコーチへの移行だけでなく、インストラクター(普及)、ED(運営)への移行も申請のみで同時に可能となる(EDへの移行の場合は、オンデマンド講習の受講を推奨)。普及上の資格として「ナビゲーションインストラクター」があるが、ディレクターからの移行措置はないため、この図には掲載していない。

以上